



優秀賞 大阪市教育委員会教育長賞

大阪市立 南大江小学校

四年 白川 結衣

交通事故をふせぐために

「うっかり見落として選択をあやまった。」「かくにんを忘れて思わぬ結果になった。」等、これらはだれしも一度や二度は経験したことがあることなのではないでしょうか。同じ状況は、交通事故においても常に起こっていることだと思いません。

今回私は、交通安全チャレンジを行うにあたって「信号を守る」という目標を立てました。理由は、交通事故を防ぐためには私たちが小さい時から教えてもらってきた基本的なルールに立ち返るということが一番重要だと思っただけからです。

実さい、横断歩道をわたってみると、いろいろなことがわかりました。

一つ目は、信号を利用しているのは自分だけではないということ。道路を利用するのは歩行者だけでなく、車、自転車、バイクなどさまざままで、その年れいそうもことなあります。さらに、お互いが進みたい方向や、スピードもち

がいます。

そのため、それぞれが、それぞれに必要なルールで、まずは自分自身を守ることが大切だと思えました。

二つ目は、急いでいると信号をわたることに必死で、周りが見えなくなってしまうということ。人はあせるとれいせいははん断ができなくなり、時間がある時にはできることでも「うっかり見落とし」たり、「かくにんを忘れて」しまいます。道路をわたる時には、常にれいせいな気持ちでよゆうをもって行動したいと思えました。

三つ目は、基本的なルールを守ることが最低限必要なことで、自分できけんを予そくして行動するのもひ常に重要だということ。たとえ自分が交通ルールを守っていたとしても、事故が起こるということは十分に考えられます。

それでも、一人一人が信号をしっかりと守り、安全かくにんをてっ底することで、大はばに事故をへらすことができるとは思います。

まずは、私自身がルールを守ること、交通事故をへらしていければと思います。